



KEIRYOKAI  
produced by  
医療法人圭良会

vol.11

2009

**理事長挨拶**

グループホーム こんぴら

**特集:「百歳の祝い」**

**行事報告**

サンライズ こんぴら

**行事報告**

**職員紹介**

**特集:「へえ〜っ、そうなんだ!?**  
**〜昔の人はすごい!!〜」 第5回**

**編集後記**

**関連機関**



グループホーム こんぴら  
サンライズ こんぴら

こんぴら



## 理事長あいさつ

大寒のきびしい寒さに身がひきしまりましたが、今年  
はインフルエンザ流行の兆しがあり、高齢者の方にとって、  
この時期の健康管理は大変重要となります。

グループホームこんぴら、サンライズこんぴらでサポ  
ートさせていただいている「認知症」の罹患患者は、現  
在日本で、170万人を超えており、今後増加の一途をた  
どるといわれています。65歳以上の有病率は3~8%で  
すが、2026年には10%に上昇すると推計されています。  
年間発症率は75歳をこえると急に高くなり、80~84歳  
では8%にもものぼります。この病気の原因については、  
遺伝的背景、動脈硬化危険因子の関与などさまざまな角  
度から研究がすすめられていますが、いまだ確立された  
治療法はないのが現状です。予防的な取り組みを行って

いくことも重要ですが、急増する認知症の対策として、「た  
とえ認知症になってもだれもが安心して暮らせる社会、  
町づくり」が大切と思います。グループホームこんぴら、  
サンライズこんぴらでは、ご家族をはじめ、役場、社会福  
祉協議会、地域の一般の方々と「地域運営推進会議」を  
定期的にもち、ともに認知症に対する理解を深めてまい  
りました。さらに各方面の方々にもご参加いただき、この  
ような取り組みを続けてまいりますので、今年も宜しくお  
願いいたします。

理事長 森 伊津子

## グループホームこんぴら

## Group Home Konpira

### ●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、  
豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、  
家族の一員としての介護支援を行います

### ●基本方針

- 1.家庭的で安全な療養環境を提供します
- 2.24時間家族の一員がそばにいる安心感もてるよう介護支援を行います
- 3.自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個性のある介護支援を行います

### 特集

「百歳の祝い」

グループホームこんぴらの秦 豊子さんの百寿をお祝いしての書道展が、平成20年12月4日(木)~9日(火)  
まで、アクト(ACT)ことひら町立ギャラリーで開催されました。

秦さんが現在もホームから通っている『象頭かな書道教室』の山野先生をはじめ、書道仲間の皆さんが、秦さん  
の俳句を各々の作品にして展示してくださいました。

また、秦さんは四国新聞社の取材を受け、平成20年12月18日付の『あの人この人』に掲載されたり、四国銀行  
(まんのう支店)での作品展にも出展されたりと百歳になってもより上達を目指しお稽古を重ねています。

12月の地域運営推進会議では、参加者の皆様に新聞記事を配布し、秦さんが85歳から書道を始めたという事な  
どをお伝えした所、深く感銘を受けられていました。「今からでも遅くない!!」と意欲をかきたてられたご様子でした。



行事報告



平成20年度  
第5回地域運営推進会議

12月9日(火)に地域運営推進会議を開催し、入居者・家族・役場・民生委員など、20名の方の参加がありました。今回は、11月に受けた「外部評価について」、グループホームでの生活で考えられる「リスクについて」の取り組みを報告させていただきました。

クリスマス会

12月21日(日)クリスマス会を、各ユニットにて開催いたしました。入居者・家族・近所の方・協力医療機関の職員等、3ユニットで合計72名の方の参加がありました。オリジナルゲームや恒例のバイキング形式での昼食を用意しました。参加された皆様から「楽しかった。」「来てよかった。」「また来るわな。」と最高のお言葉を頂き、大変嬉しく思います。今後も皆様に喜んで頂けるような行事を企画してまいります。



お正月

今年は天候に恵まれず、残念ながら初日の出を見ることは出来ませんでした。ホームの屋上から金比羅さんを拝み厳粛な気分になりました。また、近所の神社へ初詣に行ったり、福笑いや書初め等をして楽しみ、よいお正月を迎える事が出来ました。

サンライズこんぴら

Sunrise Konpira

●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

●基本方針

1. 通い・泊まり・訪問のサービスを、随時組み合わせた介護支援を行います
2. 地域の中での関係を大切に継続するとともに、個別性を尊重した支援を行います
3. 365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します

行事報告



クリスマス会

12月13日(土)にサンライズこんぴらで、クリスマス会をしました。職員手作りのオードブル料理を食べ、歌を歌ったりクリスマスツリーを作ったりしました。近所の方や家族にも参加していただき、大勢でとても楽しい会になりました。

職員紹介

12月1日より、新しい職員が加わりました。



よろしく  
お願い  
します！

介護福祉士の **大上加代子** です。



特集 <お料理の知恵>  
へえ〜っ、そうなんだ!?  
〜昔の人はすごい!!〜

第5回



9 塩がききすぎた時は、酢を入れるとまろやかに

味付けの時、塩をたくさん入れすぎて辛くなってしまった!そんな時、あわてずに酢を少しだけ足してみてください。すると、塩辛さがやわらいでまろやかになりますよ。

10 干しいたけは、ぬるま湯と砂糖でもどすと早い

ひじきや昆布、干しいたけ等の乾物は、水に浸してゆっくりもどすのが基本です。でも、急ぐときはぬるま湯に浸せばスピードアップ。特に、干しいたけは、ぬるま湯に砂糖をひとつまみ入れてもどすと、素材のうまみを逃がさずにふっくらと早くもどせます。

\*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ〜っ、そうなんだ!? 知らなかった〜!昔の人はすごいなあ〜」と、実感できるアイデアを日々、教わっています。

(参考文献:主婦と生活社 おばあちゃんの生活の知恵 監修/阿部絢子)

編集後記

寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか?風邪予防には手洗いやうがい効果が効果的です。しっかり栄養をとって、規則正しい生活で健康に毎日をご過ごしましょう!!

グループホームこんびら・サンライズこんびら広報誌「こんびらだより」第11号  
発行元: 認知症高齢者グループホーム こんびら 編集者: グループホーム こんびらだより発行部  
住所: 〒766-0002 仲多度郡琴平町167 TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812  
ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)  
eメールでのお問い合わせは [keiryokai@eisei-hp.or.jp](mailto:keiryokai@eisei-hp.or.jp)  
発行年月日:平成21年1月15日

支援医療機関・介護保険事業所



**永生病院**  
〒769-0311  
仲多度郡まんのう町買田221-3  
Tel 0877-73-3300



**森内科**  
(グループホームこんびら  
建物の1階)  
〒766-0002  
仲多度郡琴平町167  
Tel 0877-73-4188



**サンライズこんびら**  
(小規模多機能型居宅介護)  
〒766-0004  
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1  
Tel 0877-58-8600

- **いこいの森** (訪問看護ステーション) Tel 0877-73-3700
- **いこいの家** (通所介護) Tel 0877-73-3718
- **いこいの郷** (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655

